



3 団体が共演！口和の夏を彩る「夏神楽」

3団体合同 夏神楽・8/11

口和自治振興センターで、口和^{くわ}常定神楽継承団体戸山会と、戸山会にゆかりのある穴笠神楽団、茂田神楽団の3団体による合同の「夏神楽」が開催され、地元住民や神楽ファンなど約300人が来場しました。

この催しは、お盆に神楽に親しむ機会を作ろうと、3団体が初めて合同で企画したものです。

舞台では、それぞれの団体が計6演目を披露し、息の合った掛け合いや迫力ある舞に、会場から大きな拍手や歓声が送られました。

また、地元の戸山会は、若手を中心としたメンバーが、長年受け継いできた「荒神山」を上演。堂々とした舞を披露しました。



▲大迫力の舞を披露

大蛇や狐が舞台から客席へ飛び降りる場面では、大人たちから大きな歓声上がる一方、子どもたちは驚いたり怖がったりしながらも、演者と記念撮影をする場面も。大蛇の迫力や繊細な舞を間近で楽しんでいました。

また、地元の人たちが腕をふるった食べ物のバザーも行われ、会場は多くの人でにぎわいました。

演者には中学生や高校生など若い世代も多く、来場者からは「伝統芸能を受け継ぎ、地元を盛り上げる若い力を感じた」との声も聞かれました。

世代を超えて地域の伝統をつなぐ、にぎやかな夏のひとときとなりました。



▲怖がりながらも大蛇に近づく子どもたち

食を通じた交流「たべりば」

たべりば・8/27

No.5

総領保健福祉センターで「たべりば」が開催され、24人が参加しました。

総領地域では、社会福祉協議会総領地域センターと連携し、毎月第4木曜日に、市の栄養士が考えたメニューを参加者と一緒に調理し、昼食を食べながら交流しています。

今回は、豚肉のにんにくみそ炒めをメインに、冷やし中華、めた、カボチャスープ、スイカなど、栄養バランスに配慮した夏らしいメニューが並びました。

参加者は食事を楽しみながら、健康的な食事について考えたり、日々の困りごとや近況を気軽に話したりして、交流を深めていました。



▲夏の味覚が並んだ、彩り豊かなメニュー

海の生き物との触れ合い体験

宮島水族館から磯の生き物たちがやってくる！・8/23

No.4

比和自然科学博物館で、毎年多くの人々が参加する人気企画「宮島水族館から磯の生き物たちがやってくる！」が行われ、午前と午後全2回の講座に95人が参加しました。

初めに宮島水族館のスタッフから、ヒトデやウニの特徴や、干潟の生き物がどうやって餌を食べているかといった実演や、普段は見られない生き物の特徴など、映像を交えて話を聞きました。その後、小型のサメ・カブトガニやヒトデなど、多くの生き物たちと直接触れ合う体験学習を行いました。

参加者は「ヒトデは思ったより柔らかかった」などと話しながら、貴重な体験に目を輝かせていました。



▲興味津々で触れ合う参加者

優れた肉用牛が集結

第4回JAひろしま庄原地域畜産共進会・9/4

No.1

旧庄原家畜市場で「第4回JAひろしま庄原地域畜産共進会」が開催され、市内各地域で選抜された28頭が出品されました。共進会は、出品牛の発育や資質、品位などを審査し、日頃の飼養管理や改良の成果、その優秀性を競うものです。当日は、出品された牛を一頭ずつ審査し、各区の首席牛が選ばれました。

肉用種牛の1区（令和7年12月1日～令和8年2月28日生まれ）では宮崎譲さん（西城町）、2区（令和7年9月1日～11月30日生まれ）では大迫一三さん（峰田町）、3区（令和7年6月1日～8月31日生まれ）では藤山明春さん（口和町）、4区（令和7年3月1日～5月31日生まれ）では垣内とみこさん（比和町）の出品牛が、それぞれ首席に選ばれました。



▲一頭ずつ審査される牛たち

さらに、1～4区の首席となった牛の中から選ばれる「総合首席」は、3区の藤山明春さんの出品牛が選ばれました。

上位入賞した出品牛は、10月27日（火）に開催される「第102回広島県畜産共進会」に出場し、県内各地域から選抜された牛と競います。

【各区の首席】

- 1区 宮崎 譲さん（西城町）
- 2区 大迫 一三さん（峰田町）
- 3区 藤山 明春さん（口和町）★総合首席
- 4区 垣内とみこさん（比和町）



▲総合首席を獲得した出品牛（中央）と藤山さん（手前）

音楽でつなぐ地域の絆

TOJYO ファミリーコンサート・8/23

No.2

東城文化ホールで「第3回 TOJYO ファミリーコンサート」が開催されました。

ステージでは、「プリランテ」の皆さんによる演奏や、オカリナによるアンサンブル、子どもたちによるバイオリン演奏など、さまざまな音楽が披露され、会場を美しい音色で包みました。

午後からは「ファミリーコンサート」と題して、歌のお姉さんによるステージや、明るく元気な歌声に合わせ、猫のミケちゃんや西城から駆けつけたヒバゴンも登場。楽しいダンスを披露しました。

次々と繰り広げられる楽しい曲に、子どもたちも一緒に体を動かし、会場は笑顔と歓声に包まれました。



▲子どもたちによるバイオリン演奏

また、会場の駐車場にはキッチンカーも並び、食事や買い物を楽しむ人の姿も見られました。

厳しい暑さの中での開催となりましたが、音楽を通じて世代や地域を越えてみんなが楽しみ、交流を深める一日となりました。



▲ワークショップを楽しむ来場者



▲ステージで楽しく踊るヒバゴン